

環境にやさしく、 快適で安心して暮らせる村づくり



豊かな自然環境と調和しながら
誰もが安心して快適に
暮らせる村を目指します

緑

と水が織り成す豊かな自然は、本村の財産です。この恵まれた環境を守り、伝えていくためにもゴミの減量化やリサイクルの促進、新エネルギーの導入など環境にやさしい循環型社会の形成を目指すとともに、快適な水環境の創造や環境教育などにも力を入れ、自然環境の保全と活用に努めます。

また、本村の発展と自然環境が調和した秩序ある土地利用を進めるとともに、生活にうるおいを与える景観保全や形成を進め、美しく、住みよい村づくりを目指します。

快適性や利便性の向上は、定住人口の増加や産業振興に欠かせません。幹線道路や生活道路の維持・改良はもちろん、福島空港やあぶくま高原道路を利活用した本村ならではの道路網・交通体系を整備するとともに、快適な暮らしを支える上下水道や公園・緑地、住宅環境の整備に努めます。

また、誰もが安心して暮らせる地域社会を維持・形成していけるよう、防災や消防・救急体制を充実させるとともに、防犯や交通安全、消費生活対策にも力を入れていきます。



福島空港



あぶくま高原道路



花いっぱい運動(国道118号沿線)

村民参加の村づくり

人々に安らぎとうるおいを与える 花いっぱい運動

「竜崎老人クラブ長寿会&ひまわりクラブ」のみなさん

幹線道路を通るドライバーや歩行者に少しでも安らぎとうるおいを与えたいと、今から20年以上前に官民一体となって始まった「花いっぱい運動」。毎年、6月に行われる苗の植え付けは、地域の老人クラブや各種団体がそれぞれ担当区域を決めて行っています。

中でも国道118号沿いに位置する神ノ前地区と原作田地区を担当しているのは、「竜崎老人クラブ長寿会」と「ひまわりクラブ」のみなさん。「真夏の草むしりや水やり、秋の後片付けは大変だけど、自分で植えると成長が楽しみで。ここを通る人にわぁきれい！と眺めてもらえれば…。その一心で毎年参加しています」とこの日は3800本のサルビアの苗などを一つひとつ丁寧に植えていました。



地域の子どもやお年寄り 地域住民が一丸となって見守る

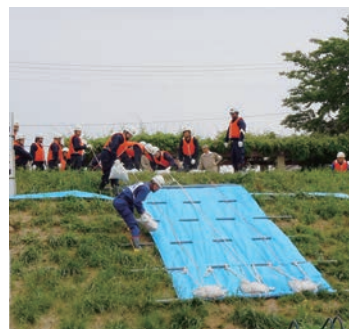
「南須釜・愛のパトロール隊」のみなさん

地域の子どもたちは地域の人々が愛を持って見守ろうと、平成17年に住民による住民のための防犯組織として結成されたのが「南須釜・愛のパトロール隊」です。

主な活動は地区内の見回りと声掛け。通学路を散歩しながら、農作業をしながら…と各自が日常生活の中で無理なく、自主的に見守っていくのをモットーにしています。「会には揃いの帽子があるので、散歩や農作業に出掛けるときはその帽子をかぶるようにしています。そうすると子どもたちが一目でパトロール隊の人だと分かるので安心感があるし、犯罪者にとっては抑止力になる。今後はお年寄りの見守りにも力を入れていきたい」と地域の安全・安心に意欲を燃やすみなさんでした。



消防団の放水訓練



河川の水防訓練



用水路の維持管理作業

共に支えあい、 いきいき暮らせる村づくり



**住民の協力を得ながら
保健・医療・福祉サービスが
充実した村を目指します**

誰

もが住み慣れた地域で、生涯にわたっていきいきと安心して暮らしたい。この願いを叶えるために、本村では住民同士が共に支え合う福祉社会の実現を目指すとともに、高齢者や障がい者福祉、児童福祉や子育て支援などをさらに充実させ、この村に暮らす全ての人が生きる喜びや幸せを感じられるような村づくりを目指します。

また、日本の少子高齢化や人口減少、経済成長の鈍化が課題になっている今、住民の社会保障制度に対する関心は年々、高まっています。本村では全ての住民が健康で文化的な暮らしを享受できるよう、社会保障制度の適正な運用と住民理解の浸透に努めます。

65歳以上の親族がいる世帯が全体の約半数を占める本村においては、住民の健康づくりを増進させ、いかに健康寿命を伸ばすかが大きな課題です。保健センターに併設した「健康の駅たまかわ」を拠点に、保健・福祉・医療が連携を深めながら、健康づくり・生活習慣病予防や介護予防を一体的に推進できるように歩んでいきます。



スポーツフェスタ



健康の駅たまかわ



ふれあいセンターでの交流事業

村民参加の村づくり

いざというとき頼りになる 子ども預かり事業

「おひさまサポート」のみなさん

たまには子どもを預けてリフレッシュしたい、急用ができたので保育所の送迎と一時預かりをお願いしたいなど、子育て中の母親や父親を支援するために平成18年にスタートしたのが「おひさまサポート」事業です。

この事業は子どもを預ける「お願い会員」と子どもを自宅で預かる「任せて会員」(女性労働協会による保育サポーター修了者)から成り、お願い会員に登録しておけば、いざというとき1人1時間600円で預かってもらえます。任せて会員のみなさんは「子育て世代を応援したいと思い、この有償ボランティアに登録しました。困ったとき少しでもお役に立てれば嬉しい」とこの仕事に責任とやり甲斐を感じておられるようです。



地域の清掃活動を通して 楽しく健康に暮らせる幸せを実感

「川辺老人クラブ百日紅会」のみなさん

毎月1日を清掃活動の日と決め、JR水郡線川辺沖駅周辺と円通寺、川辺公民館のゴミ拾いや草むしりなどを行っているのが「川辺老人クラブ百日紅会」のみなさんです。

「この清掃活動は、無人の川辺沖駅が設置された昭和30年代から続く地域の恒例行事。自分たちが使う場所は、自分たちの手でいつもきれいにしておきたいですからね。でも、単なる奉仕活動だけでは味気無いので、終わったら公民館に集まり、例会を兼ねてみんなでお茶を飲むんです。それがまた楽しくて待ち遠しいくらい」とみなさん。

毎月、参加できるのも健康であればこそ。この清掃活動を通して元気に、楽しく暮らせる幸せを実感されているようでした。



フラダンス教室



グラウンドゴルフ



歯科検診